

千代田界隈のレトロな風景



無観客の大勝負

炎天の夏は終わり、どんぐりの落ちる公園で
(淵野辺公園にて)

みどりの風



どりの風

2020.11.1
-NO.266-

人・ひと日記

小林 功

ウイズコロナ時代の新しい仕事様式として急速に広まっている感があるのが「オンラインセミナー」。多くの機関から開催の案内が届いています。医療・介護の知識や介助技術に関わることから経営講座まで。会場に向く必要が無く、特に遠方や夜間の外出が苦手な私にとってはこんな便利なことはありません。最近では「相模原町田介護医療圏インフラ整備コンソーシアム」主催のセミナーがオンラインで行われました。コロナ以前は北里大病院をはじめオンラインでつながるいくつかの拠点に会員が集まる勉強会です。今回は会の中心になっていくみそのクリニックの小野沢先生による「医療知識シリーズ第三弾 痛みを感じる仕組みと沈痛の方法」でした。介護職にも分かりやすい医学知識と癌の痛みをコントロールして在宅療養を継続するためには病状や痛みの様子を的確に医療に繋げていくホームヘルパーの連携の重要性について強調されていました。本セミナーには千代田から十名以上の職員が自宅から参加していたようです。

デイの昼食後の三十分。懐かしい歌をうたっています。自然の情景を歌ったものが多い唱歌の中に「物語」を感じさせる歌があります。「里の秋」静かな静かな里の秋・・ああ母さんとただ二人・・栗の実を煮ながら待っているのは終戦になっても南方の地から帰らない父を想う歌。

「カナリア」歌を忘れたカナリアは、山に捨てられたり、藪に埋められたり、鞭でぶたれたり・・さんざんいじめられそうになります。象牙の船と銀の櫂、月夜の海に浮かべれば忘れた唄を思い出す・・で締めくくり。残酷な仕打ちでハラハラさせながら最後は大逆転。西城八十さんはどんな人だったのでしょうか。「月の砂漠」も不思議な唄だと思います。この辺はまたの機会に。朝ドラは今日(10/20)から「鐘の鳴る丘」編に入りました。

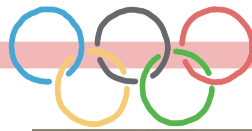
発行 社会福祉法人 悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1
千代田デイサービスセンター
042-751-0672
ヘルパーステーション千代田
042-704-0261
千代田介護支援センター
042-704-0281
児童クラブ いちばん星
080-5865-1588

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

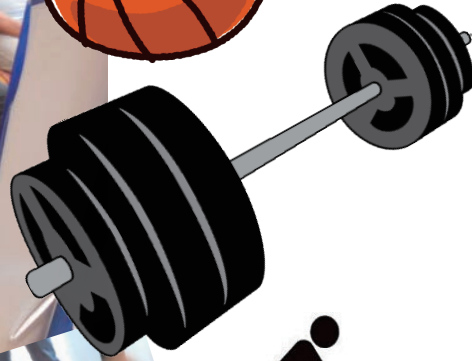
千代リンピック2020



例年行っている千代田大運動会を今年は一変！

東京オリンピックイヤーということで千代リンピックを開催いたしました☆

本家のオリンピックは延期になりましたが、千代リンピックは無事開催することが出来ました！



10月の前半と後半に分け、前半は“輪送り”“バスケットボール”後半は“ラグビー”“重量挙げ”を行い、全日程で“玉入れ”、職員競技では“トライアスロン”を行いました！！

紅白ではなく「東軍」「西軍」に分かれ、白熱した競技を楽しみました♪ 勝利チームには金メダルを授与☆



負けたチームにも銀メダルが授与されましたが、やはり銀メダルのチームの皆さんは悔しさが残る様でリベンジを心に誓っていました☆

エキシビジョンマッチの立ち位置となった職員競技ではトライアスロンを実施し、職員も汗をかきかき楽しみました♪

さ

が



サ

ポ

さがサポの活動



認知症の人やその家族が持つ生活ニーズの把握

認知症の人やその家族が持つ思いを専門医療機関等から受け付けます。パートナーからの電話やメールによる相談窓口を設置しております。



パートナーズカフェの設立・運営

認知症の人やその家族が持つ思いとパートナー活動をマッチングする居場所（カフェ）を企画します。認知症になっても暮らしやすい街についてのワークショップを開催します。



スポーツや創作活動を通じた交流会の企画・運営

パートナー同士が交流する機会となる主体的な活動をサポートします。（野球やテニス、農作業、地域イベントへの参加など）



商店や自治会、企業、行政などとのコラボレーションによる社会貢献・参加活動

商店街などでのカフェや寄付活動、認知症啓発イベントへの参加をご案内します。

FAX: 042-786-6631
e-mail: saga-sapo@link-npo.com



さがみはら認知症サポーターネットワーク事務局

特定非営利活動法人
Link・マネジメント

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺4-4-2
TEL: 042-707-1603 URL: www.sagasapo.com



の予定



外出リハビリ(予定)
おやつ作り(予定)
体重測定 9日(月)~15日(日)
誕生会 24日(火)~30日(月)



さ

が



サ

ポ

のご紹介

さがサポの“パートナー”とは？

人と人が笑顔で楽しく繋がれる相模原を目指して、認知症の人やその家族、社会的に困っている人、認知症サポーターを含む地域で生活している人同士が、さがサポに入会すると“お互い様”を合言葉に『したい』を『できる』にするパートナーとなります。助け上手と助けられ上手が出会う場所、そこが『さがサポ』です。



今回は『さがサポ』のご紹介です。
さがみはら認知症サポーターネットワーク（さがサポ）には、千代田介護支援センター日高も世話人として関わっています。人と人をつなげる取り組みについてお伝えできればと思います。

助け合いを実現する“ウィッシュカード”

認知症当事者やご家族、パートナーそれぞれが感じている『困っていること』や『やってみたいこと』などの思いを『ウィッシュ』と呼びます。このウィッシュをみんなで分かち合い、『助けてもらいたい』気持ちと『助けたい』気持ちをつなげるためのカードがウィッシュカードです。投稿されたメッセージはホームページや会員情報メールで共有され、マッチングを事務局がサポートしウィッシュの実現をお手伝いします。



パートナー



事務局



当事者

編集後記
私がさがサポに関わって4年ほど。パーベキューやソフトボール、畑仕事やボッチャなど、楽しく関わっています。私が認知症になってもならなくても、いつでも顔見知りと笑って生きていきたいのでそんな街づくりを目指しています。
H

ウィッシュカード
さがみはら認知症サポーターネットワーク
タイトル 記載日 20 年 月 日
内容
時間・頻度・期間など
場所
経費・交通費などの負担について
ニックネーム
Link-マネジメント

手伝いたい、一緒に活動したいと感じたパートナーがウィッシュカードにコメント。事務局で調整しマッチング。得意分野や空き時間を活かして、当事者の願いを叶えるサポートをして頂きます。

『助けてほしい人』と『助けたい人』その双方に喜びがあります。

困っている人のために、そして自分自身のために、あなたの力を貸してください。